

◆平成27年度学生募集!

後期AO入学選考B日程1月6日~エントリー開始!!

企画広報室 藤田 真衣

あけましておめでとうございます!みなさんにとって去年はどのような年だったでしょうか?良い年だった人もそうでなかった人も新たに1年を始めましょう。

さて、本学では1月6日(火)より後期AO入学選考B日程のエントリーが開始となります!皆さんも少し前は受験に挑戦していましたよね?同じように今、受験で悩んでいる後輩もいると思います。電子情報や福祉医療分野に進みたいと思っている後輩がいたら是非、後期AO入学選考を教えてあげてください。

さて、企画広報室では、入学希望者に対して本学について少しでも多くのことを知って頂けるよう、日々広報活動をしています。皆さんの出身高校へ訪問したり、オープンキャンパスを開催したり、時にはメディアを使って本学のことを知って頂けるよう活動しています。

しかし、本学の素晴らしさは皆さんが一番感じていることと思います。本学で学んでいること、目指していること、何でも構いませんので皆さんの後輩や本学を訪れている高校生に是非声をかけてください。皆さんの中でも「先輩の声」に勇気付けられ、本学への入学希望するきっかけになった方も少なくないはず。次は皆さんの番です!「挨拶を基調とした全人教育」の大切さ、「なりたい自分になる」ための学校であることは、経験している皆さんだからこそ伝えられることです。1人でも多くの方が中村学園の良さを感じ、仲間が増えたら嬉しいですよね。そして中村学園の輪を更に大きく広げていきましょう!

来年度入学生のため、入学選考・オープンキャンパスは下記の日程で行います。電子情報、福祉医療の希望者がいたら是非「行ってみて!」と声をかけてください!!

◆出願期間

平成27年3月17日(火)15時まで

◆入学選考(特待生選考、一般選考、自己推薦選考)

平成27年2月14日(土)、3月18日(水)

◆後期AO入学選考B日程

エントリー受付期日 1月6日(火)~2月20日(金)

◆オープンキャンパス 開催日程

1月14日(水)・29日(木) } 17:00~18:30  
2月 4日(水)・19日(木) }

○学校・入学選考説明会、ミニ体験

1月17日(土)・2月14日(土) 13:00~15:00

○体験入学、学校・入学選考説明会

※保護者対象説明会、学費等納付金・奨学金説明会も同時開催※

謹賀新年

1月の行事

1日(木) 元旦

冬季休校 ~1/5(月)

6日(火) 後期AO入試選考B日程エントリー開始!!

仕事始め

7日(水) 後期再開

12日(月) 成人の日

13日(火) 3CP 職場研修 ~2/13(金)

2CP 保育実習Ⅱ(保育所) ~1/26(月)

14日(水) オープンキャンパス 17:00~18:30

15日(木) 常葉高校系統別講座 13:10~15:00

17日(土) オープンキャンパス 13:00~15:00

★託児所:有

19日(月) 1TW・CW第2期実習 ~1/31(土)

1CP 後期試験 ~1/23(金)

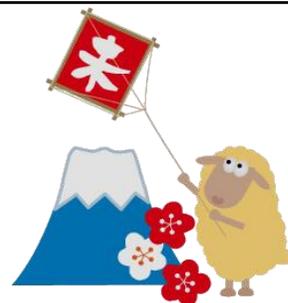
体育集中②

26日(月) 1CP 保育実習Ⅰ(保育所) ~2/7(土)

29日(木) オープンキャンパス 17:00~18:30

J検CBT

31日(土) ★託児所:有



◆最大の就職活動準備は、

学生生活を充実したものにすること!!



進路室長 橋野 幸男

新しい年を迎えました。卒業年次で就職活動中の学生は、「人手不足経済」といわれる昨今の雇用情勢を最大限に利用し、「まだまだあるチャンス」を確実にものにしてください。

次年度卒業の皆さん、「2016ルール(新・採用活動スケジュール)」上の「広報活動開始時期」である「3月1日」以降は、会社説明会だけでなく「実質的な」選考の実施など、急展開が予想されます。入念な準備の上に、機動的な対応が必要となります。

これまでの「卒業年次担任」の経験(7回)から、「最大の就職活動準備は、『学生生活を充実したものにすること』」と考えています。

授業、学外実習、インターンシップ、ボランティア、自主学習や、クラブ活動、学生会活動、あるいはアルバイト、趣味・特技、など。「学生生活=学校生活+学外生活」の様々なシーンで、「物事に積極的に取り組んだり学んだりする姿勢を身に付けた人」を、企業・施設等は求めています。

本学は、専門学校です、「実践的職業教育」機関です。「全人教育+専門教育」で学び、「『職業観』×『基礎力(コンピテンシー)』×『専門性』のバランスがとれた者」こそ、常に「伸び代のある人間」、「職業人生の長期にわたって成長する人材」として評価されます。

さて、ここで最近よく耳にする話題を紹介いたします。少々「面倒な話」と思われるかもしれませんが、決して皆さんが自信を無くす話ではありません。

例えば、こんな話題です。

- ①「『学業についての取り組みを聞けば、仕事への取り組みが見える』: 曾和利光『就活“後ろ倒し”の衝撃』[26年10月発行]
- ②「『就活・見直される“学業成績”』: NHK ニュース『おはよう日本』[25年12月18日放送]

まず、②の内容を見てみましょう。「学業成績」といっても、企業が注目しているのは、「成績の良し悪し」ではありません。「苦手な科目から逃げずに、しっかりと向き合う『耐える力』」です。某化学メーカー・人事部のコメントが紹介されています。「会社に入ってきて、やりたくないことも、最初のうちはやらなきゃいけない。仕事を覚える時期が当然ある。その時期に耐えられない人は、その次の伸びがない。そうすると、(学校の)学業の時も、やらなきゃいけないことをやれている子が会社に入ったら、耐えられるかもしれない」。

そして、ある学生の英語の成績が1年次の「B」から2年次に「A」に上がっているという「成績の伸び」に着目し、「正直つまらないけど、前向きに興味をもって、勉強をこういうふう頑張ったというのが見れば、こういう(困難な)ことがあった時にも対応できるのかな」というのは見える」としています。つまり、「成績を見て、良いとか悪いとかいう以上に、どういう『志向性』があるのかと。しんどい科目にどう取り組んだか、僕らは興味がある」ということで、特に「必修科目」に注目しています。

こうした企業の動きについて、人材育成支援会社は次のように評価しています。「コツコツと自分で目標を決めて、一步一步のぼっていく力は、面接の中では、なかなか見抜けない。学業成績を見たり、取った単位を見たりして、その中で、いったい何をしてきたのかを面接で聞くことによって、そういう能力がついている人なのかどうか、おぼろげながら見えてくる」。

次に、①の内容を紹介いたします。著者は、リクルートやライフネット生命で人事・採用部門の責任者を務めたという経歴を持つ、組織人事コンサルタントです。彼は、学生の活動を

<A>「モチベーションが高い × やらなくてもいい」活動: サークル活動、アルバイト

<B>「モチベーションが低い × やらなくてはならない」活動: 学業と分類した上で、企業が「面接で学生のどのような能力を見たいか」について、

<A> ⇒ その人の「能力の最大値」を計る上で重要(やる気があるとき、どのような思いでどれほどの爆発力を発揮してくれるのか)

<B> ⇒ 「モチベーションが低いときに、その人がどう考え、どう動くか」を知るために最近になって活用としています。

仕事は必ずしも、「モチベーションを高く保てるもの」からだけ成り立っているわけではありません。そこで、<B>類の活動にどう取り組ん

だかを聞き出そうとし、そのために学業成績を活用し始めた、と説明しています。(但し、学業が<B>類だというのは、いわゆる「文系大学生」の話であって、専攻が明確である専門学校生にそのまま当てはまるものではありません。また、学業継続のために、自らアルバイトに励んでいる学生も数多くいます。ただ、毎年、「面接指導」で指摘されるように、「履歴書」や「面接」でアルバイトの話ばかりというのは、避けなければいけません。

よく、「やる気と人柄」といわれます。そして、これらは個人特性の中でも、簡単には変わらないものとされ、採用段階で見極めるべき要素だとされています。

本学在学中に、学内でも学外でも、真摯に「充実した学生生活」を送ろうと心掛け、正に「やる気と人柄」を磨いている。そうした皆さんを、社会は期待をもって待っています。

### ◆専門学校静岡電子情報カレッジ

#### 平成26年度 海外研修修学旅行を終えて

～アメリカ西海岸サンフランシスコ&ロサンゼルス～

11月17(月)～11月22日(土) 4泊6日

《研修概要》 現地 | T 先端企業での講義・視察、現地大学視察

#### 静岡電子情報 教務課長 鈴木 正章

アメリカ西海岸・海外研修修学旅行に行きまして。私は昨年に引き続きの引率でしたが、シリコンバレーの様子も変化が見られ、ICT技術の隆盛を肌で感じる事ができました。

今回の研修では、シリコンバレーで最新情報技術のコンサルティング・トレーニングを行っている米国 Just Skill 社 社長の山谷正己 名桜大学客員教授から、情熱あふれる講義を受け、国際人として活躍する秘訣を伺うなど、大変貴重な体験をすることができました。

さらに、ユニバーサルスタジオハリウッドでの、最新CG技術を目の当たりにし、映画の制作スタジオや使用設備など最先端の知識・技術に触れることもでき、世界を舞台に活躍したいと気持ちを新たにしたい学生も多いことと思います。また、シリコンバレーでのICT先端企業の視察や、UCLA 見学など、世界を肌で感じ、多くのことを学ぶことができました。

このように貴重な研修の機会を与えていただいた理事長・校長先生をはじめ諸先生方、保護者の皆様にご心より感謝申し上げます。

#### ICT 情報デザイン学科 2年 有ヶ谷純平

今回、アメリカの様々な文化に直に触れました。アメリカはとても大きい国です。カリフォルニア州だけでも日本より広いことを知りとても驚きました。高速道路なども広く、アメリカのスケールの大きさを身体で感じました。

会話にも苦労しました。「and」などの短い簡単な単語でもアクセントやイントネーションによってはうまく通じず、ネイティブの発音を真似することが大切だと思いました。また身振り手振りや、中学の頃に習った簡単な文でも、しっかり話せば通じるということに喜びを感じました。「Have a nice day!」など、気さくに話しかけてくれるアメリカ人

が大好きになりました。これからも英語という国際言語の勉強をがんばりたいです。

またアメリカという国はやはり時代の最先端に位置していると感じました。Google や Apple など、ICT の最先端企業はシリコンバレーに集まっていますし、すでにバイオ技術の研究も進んでいると聞きました。私も最先端技術を先取りできる技術者になりたいです。

今回の研修修学旅行で、日本の良さ、外国の良さをそれぞれ再認識できました。常識にとらわれず、常に新しいことを生み出せるように日々過ごしていきたいです。

### ◆静岡福祉医療専門学校

#### 平成26年度 海外研修修学旅行を終えて

～アメリカ合衆国ハワイ州 (オアフ島)～

12月8日(月)～12月12日(金) 3泊5日

《研修概要》◎グローバル化における異文化交流を求めて!!

・ハワイ州立大学研修授業、介護医療保育施設視察

#### 医療情報秘書科 学科長 齋藤 秀樹

静岡福祉医療専門学校4学科の2年生が参加した今年度のハワイ海外研修修学旅行も、学生たちが積極的に取り組み、楽しく充実した研修となりました。100名を超える集団でしたが、個々の学生の自覚と協力のおかげで、全員無事で健康に実施することができました。

全員が、ハワイ大学で二つの講義『アメリカソーシャルワーカーの仕事と価値観』と『フラの歴史とデモンストレーション』を受講しました。そして、学科ごとに関連する病院、福祉施設や学童施設での『研修・見学ツアー』を行いました。それぞれで利用者さんや子どもたち、職員さんと関わることができ、貴重な体験ができたと思います。

今回の研修を通して、文化・歴史の違う中で、日本とは異なる物事の見方、考え方の存在や、言葉や人種が違って同じように人との関わりの中で生活を営んでおり、生まれ育ち、学び、働き、老いて行くことを学ぶことができました。今後社会に出て、医療、福祉、幼児教育などの分野で働く学生たちにとって、大いに役立つことと思います。また、海外に出てはじめてわかる日本の素晴らしさも強く感じたことと思います。そして、寝食をともにし、皆で協力しながら行動することで、これまで以上に友人との絆も深まりよい思い出ができたものと思います。

このような貴重な機会を与えていただいた理事長・校長先生をはじめ諸先生方、保護者の皆様にご心より感謝申し上げます。

#### 医療情報秘書科 2年 増田 詩央里

私たちは、12月8日から12日まで研修修学旅行に行ってきました。そのなかでも私が一番印象に残っているのは、ハワイの病院を見学したことです。

その病院は、介護施設と病院が一体になっているところで、ハワイで一番大きな病院でした。そこでは様々な工夫がされており、病院内は患者さんが家にいる時と変わらない暮らしができるように、段差やキッチンがわざと設置してあったり、またカフェテリアなどの憩いの場もありました。なかでも興味を持ったのは「ナマステスパ」です。「ナマステ

スパ」は患者さんの筋力が衰えないためにマッサージを行っており、部屋の雰囲気も他とは違い、照明が暗くしてあったり、お香のようなものをたいていたり、テレビでは湖の映像と音楽を流してあったりと、五感を刺激し、落ち着く雰囲気作りがされていました。そして、ひとりひとりが何に反応しているか記録を残し、管理されていました。

今回の研修修学旅行を通して、国は違っても、患者さんに思いやりの心を持って接することは、日本と変わらないと感じました。これから社会人になるにあたって、患者さんの立場にたち、思いやりの心を忘れず精一杯頑張っていきたいと思います。

#### 子ども心理学科 2年 徳永 多映

研修修学旅行でハワイのホノルルへ行ってきました。行く前までは3泊5日は長く感じていましたが、行ってみるとあっという間で、3泊5日では足りないように感じました。

2日目に子ども心理学科は「学童保育プログラム」でハワイの小学校に行きました。クラスで5、6人の班ごとに分かれ、各学年に入り、折り紙で蛙の折り方を教えたり、外に出て校庭で遊んだりしました。私は2年生と一緒に遊びました。日本語を話せる子が2人いたので、島鬼、サッカーやドッジボールを子ども達と楽しく遊べて、笑顔が見られました。

折り紙で蛙の折り方を子ども達に教えるとき、言葉の説明では伝わらなかったですが、ジェスチャーや単語、お手本を見せることで、子ども達に伝わっていたので言葉を使わないコミュニケーションを改めて学ぶことができたと思います。

言葉以外でのコミュニケーションや、子どもに何かを教える難しさを実感しました。しかし、その中でも子ども達と何かを作ったり、思いっきり遊ぶ楽しさを学ぶことができました。もうすぐ最後の保育園実習が始まります。この研修修学旅行の経験と今までの実習経験を自分なりに上手く生かして取り組んでいきたいです。そして、今回の研修修学旅行に行かせてくれた、親、そして第一に私達の事を考え計画し、同行してくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

H26.12.10. ハワイ大学研修センターにて

